

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 東京鋼鐵株式会社

コード番号 5448 URL <http://www.kohtetsu.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南 良隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼総務部長 (氏名) 小口 芳一

TEL 0285-22-1335

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	11,403	32.3	987	0.1	1,040	3.0	617	△0.0
22年3月期第3四半期	8,621	△48.3	986	△66.2	1,010	△65.7	618	△61.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	35.49	—
22年3月期第3四半期	35.49	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	18,694	12,745	68.2	731.95
22年3月期	17,881	12,267	68.6	704.46

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 12,745百万円 22年3月期 12,267百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
23年3月期	—	4.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,600	13.7	1,320	4.7	1,370	5.7	800	5.9	45.95

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	17,446,000株	22年3月期	17,446,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	32,538株	22年3月期	32,395株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	17,413,542株	22年3月期3Q	17,414,310株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
【第3四半期累計期間】	5
【第3四半期会計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、外需主導による輸出の回復がみられ、企業収益は改善基調にあります。その改善は緩やかであり欧州の金融不安や長期化する円高により、今後の景気悪化に対する懸念が強まり、足踏み状態で推移いたしました。

当社の属する普通鋼電炉業界におきましても、主原料の鉄スクラップ価格が高騰する一方、依然として鋼材需要は盛り上がり低調に推移いたしました。

こうした状況のもと当社では、国内販売においては需要見合いの生産・販売に徹し、市場と顧客の変化を捉えながら木目細やかな顧客サービスを第一とした一方、アジア地域を中心に鋼片販売を積極的に行い操業の全体最適化を図り、さらには、国際標準のコスト競争力を成すべく仕入・製造面においても徹底した見直しを行いました。その結果、前年同期間とほぼ同額の利益を確保するにいたりました。

当第3四半期累計期間の業績は以下の通りです。

#### ①売上高

海外向けの鋼片輸出販売の強化に加え、製品販売の緩やかな回復基調により出荷数量及び販売価格が前年同四半期に比べ若干増加しましたので、売上高は前年同期間比2,781百万円（32.3%）増加し11,403百万円となりました。

#### ②営業利益

鉄スクラップの価格変動によりメタルスプレッドの確保が厳しい状況の中、デリバリーサービス強化等により営業利益は前年同期間とほぼ同額の987百万円となりました。

#### ③経常利益

手許資金を有効活用したことによる仕入割引の増加等により前年同期間比29百万円（3.0%）増加し1,040百万円となりました。

#### ④四半期純利益

法人税等を差し引いた結果、前年同期間とほぼ同額の617百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

流動資産は、前事業年度末に比べ958百万円（12.9%）増加し8,397百万円となりました。これは、主に販売数量増加による売掛金の増加783百万円によります。

固定資産につきましては、当期は収益環境が厳しいことを考慮し大型設備投資を控えております。このため、減価償却費相当分が減少したこと等により、前事業年度に比べ145百万円（△1.4%）減少し10,297百万円となりました。

これにより、総資産は前事業年度末に比べ812百万円（4.5%）増加し18,694百万円となりました。

##### （負債）

流動負債は、前事業年度末に比べ402百万円（11.6%）増加し3,883百万円となりました。これは生産量増加に伴い原材料の仕入数量増加により支払手形及び買掛金が202百万円増加したことに加え、未払法人税が193百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ333百万円（5.9%）増加し5,948百万円となりました。

##### （純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べ478百万円（3.9%）増加し12,745百万円となりました。これは、四半期純利益617百万円から期末配当金69百万円と中間配当金69百万円を差引いた結果であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末に比べて251百万円の増加となり3,436百万円となりました。なお、当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次の通りであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,147百万円（前年同四半期は935百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税引前四半期純利益1,034百万円、減価償却費623百万円と、生産増加に伴い鉄スクラップ購入量が増加したことによる仕入債務の増加358百万円であります。支出の主な内訳は、売上債権の増加783百万円と法人税等の支払による支出227百万円であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は468百万円（前年同四半期は539百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出241百万円と資金運用を目的としたその他の支出217百万円が要因であります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は427百万円（前年同四半期は473百万円の支出）となりました。これは、借入金返済により有利子負債が298百万円減少したことに加え、配当金の支払いによる支出128百万円が要因であります。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、当第3四半期累計期間までの業績は前回公表いたしました予想どおりに推移しております。よって、平成22年11月5日公表の業績予想数値の変更はありません。

## 2. その他の情報

## (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

## ①簡便な会計処理

## ア：棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

## イ：固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

## ウ：経過勘定項目の算定方法

合理的な算出方法による概算額で計上する方法によっております。

## ②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

## ア：税金費用の計算

当第3四半期会計期間を含む会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

## (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

## 資産除去債務に関する会計基準等の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、これによる損益に影響はありません。

## (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	126,278	64,418
受取手形及び売掛金	3,366,713	2,583,649
商品及び製品	990,032	865,053
原材料及び貯蔵品	555,052	490,837
預け金	3,310,000	3,120,000
その他	49,422	315,252
流動資産合計	8,397,499	7,439,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	1,131,427	1,189,017
機械装置及び運搬具 (純額)	3,777,370	4,022,321
土地	4,546,090	4,546,090
その他 (純額)	433,455	471,016
有形固定資産合計	9,888,342	10,228,446
無形固定資産	22,901	24,131
投資その他の資産	385,781	190,170
固定資産合計	10,297,025	10,442,748
資産合計	18,694,525	17,881,960
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,091,254	1,889,017
短期借入金	575,804	796,236
未払法人税等	226,307	33,066
引当金	41,360	90,869
その他	949,064	672,186
流動負債合計	3,883,791	3,481,376
固定負債		
長期借入金	335,622	414,145
引当金	208,435	198,377
その他	1,520,826	1,520,826
固定負債合計	2,064,883	2,133,349
負債合計	5,948,675	5,614,725
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,453,000	2,453,000
資本剰余金	981,690	981,690
利益剰余金	7,105,981	6,627,296
自己株式	△13,083	△13,015
株主資本合計	10,527,587	10,048,971
評価・換算差額等		
土地再評価差額金	2,218,262	2,218,262
評価・換算差額等合計	2,218,262	2,218,262
純資産合計	12,745,850	12,267,234
負債純資産合計	18,694,525	17,881,960

## (2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	8,621,183	11,403,141
売上原価	6,917,879	9,639,816
売上総利益	1,703,304	1,763,324
販売費及び一般管理費	716,826	775,556
営業利益	986,477	987,767
営業外収益		
受取利息	9,544	6,982
仕入割引	11,153	17,924
その他	18,392	38,381
営業外収益合計	39,090	63,289
営業外費用		
支払利息	8,938	5,425
売上割引	2,884	2,569
その他	3,180	2,679
営業外費用合計	15,003	10,674
経常利益	1,010,564	1,040,382
特別利益		
固定資産売却益	5,232	17
その他	250	—
特別利益合計	5,482	17
特別損失		
固定資産除却損	26,300	6,319
その他	1,709	—
特別損失合計	28,009	6,319
税引前四半期純利益	988,036	1,034,080
法人税等	369,956	416,087
四半期純利益	618,080	617,992

## 【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成21年10月 1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年10月 1日 至 平成22年12月31日)
売上高	2,741,617	4,070,585
売上原価	2,197,555	3,521,332
売上総利益	544,061	549,252
販売費及び一般管理費	221,174	273,563
営業利益	322,887	275,688
営業外収益		
受取利息	3,995	3,317
仕入割引	3,904	6,992
その他	7,661	6,198
営業外収益合計	15,560	16,508
営業外費用		
支払利息	2,585	1,512
売上割引	919	1,027
その他	1,329	789
営業外費用合計	4,833	3,328
経常利益	333,614	288,868
特別利益		
固定資産売却益	4,397	—
その他	250	—
特別利益合計	4,647	—
特別損失		
固定資産除却損	—	2,943
会員権売却損	1,171	—
特別損失合計	1,171	2,943
税引前四半期純利益	337,090	285,925
法人税等	123,061	115,041
四半期純利益	214,028	170,883

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	988,036	1,034,080
減価償却費	627,067	623,404
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△49,410	△36,609
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,500	△12,900
前払年金費用の増減額 (△は増加)	10,882	21,177
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10,255	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△12,060	10,057
受取利息及び受取配当金	△9,544	△6,982
支払利息	8,938	5,425
固定資産売却損益 (△は益)	△5,232	△17
固定資産除却損	25,966	5,545
売上債権の増減額 (△は増加)	50,638	△783,064
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△259,486	△189,009
その他の資産の増減額 (△は増加)	△24,310	268,104
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,040,132	358,466
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△88,697	57,135
その他の負債の増減額 (△は減少)	47,715	20,254
小計	2,354,391	1,375,068
利息及び配当金の受取額	9,544	5,457
利息の支払額	△8,938	△5,425
法人税等の支払額	△1,419,076	△227,243
営業活動によるキャッシュ・フロー	935,921	1,147,857
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,484,378	△241,968
有形固定資産の売却による収入	3,898	1,700
無形固定資産の取得による支出	△17,089	△11,320
貸付けによる支出	△9,780,000	—
貸付金の回収による収入	10,710,000	—
その他の支出	△12,950	△217,000
その他の収入	41,240	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△539,279	△468,588
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,119,871	900,000
短期借入金の返済による支出	△1,319,871	△1,100,000
長期借入れによる収入	150,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△292,097	△398,955
自己株式の取得による支出	△261	△68
配当金の支払額	△131,005	△128,384
財務活動によるキャッシュ・フロー	△473,364	△427,408
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△76,721	251,859
現金及び現金同等物の期首残高	334,716	3,184,418
現金及び現金同等物の四半期末残高	257,994	3,436,278

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

(比較生産高)

品名	期別 前第3四半期会計期間 (自 平成21年10月 1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年10月 1日 至 平成22年12月31日)	前年同四半期比 (%)
鋼材・ビレット	千円 2,196,925	千円 3,507,564	159.7

(比較販売高)

品目	期別 前第3四半期会計期間 (自 平成21年10月 1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年10月 1日 至 平成22年12月31日)	前年同四半期比 (%)
	金額：千円	金額：千円	
鋼材	(-) (-%) 1,993,312	(-) (-%) 2,582,367	129.6
ビレット	(742,069) (99.4%) 746,407	(1,470,213) (99.8%) 1,472,877	197.3
その他	(-) (-%) 1,897	(-) (-%) 15,340	808.3
計	(742,069) (27.1%) 2,741,617	(1,470,213) (36.1%) 4,070,585	148.5

括弧内の数字 (内容) は輸出販売額及び輸出割合であります。